

- 問1 1つの小さな金属の輪に3本の糸をつけ、それぞれの糸を異なる方向からばねばかりで引いて、金属の輪が一定の場所で静止している状態をつくりました。このとき、2本の糸が引力の合力と、残りの1本の糸が引力との関係について正しく述べたものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- 2つの力の合力の向きは、残りの1つの力の向きと同じである
 - 2つの力の合力の大きさは、残りの1つの力の大きさよりも常に大きくなる
 - 2つの力の合力は、残りの1つの力と大きさが等しく、向きが反対である
 - 3つの力が引く向きの角度に関わらず、それぞれの力の大きさの合計は常に0である
- 問2 糸につるされたおもりが左右に往復運動する振り子において、おもりの運動エネルギーが最大となるのはどのような位置か。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- 振れの両端にある、最も高い位置
 - 振れの両端から最低点へと移動する途中の位置
 - 振れの中心にある、最も低い位置 (最低点)
 - おもりが最高点に達して一瞬静止した位置
- 問3 動滑車を1つ使って物体を20cmの高さまですり上げる実験を行った。このときの手の動きと力の関係について述べたものとして正しいものはどれか。ただし、滑車やひもの重さ、摩擦はないものとする。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- ひもを引く力は重力の半分になり、ひもを引く距離は40cmになる。
 - ひもを引く力は重力の2倍になり、ひもを引く距離は40cmになる。
 - ひもを引く力は重力と同じになり、ひもを引く距離は20cmになる。
 - ひもを引く力は重力の半分になり、ひもを引く距離は10cmになる。
- 問4 台車を2.4ニュートンの力で真上に20センチメートル引き上げたとき、この力が台車に対して行った仕事の大きさは何ジュールですか。計算式に基づいた正しい値を選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- 48ジュール
 - 480ジュール
 - 0.48ジュール
 - 4.8ジュール
- 問5 水平な床の上に置かれた木片を指で押して、摩擦に抗して一定の速さで10cm移動させました。木片には常に2Nの摩擦力がはたらいているとき、このとき指が木片に対してした仕事の大きさとして正しいものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- 2 J
 - 0.2 J
 - 20 J
 - 200 J
- 問6 摩擦や空気抵抗がない一定の傾きの斜面で、質量200gの台車を走らせたところ、1秒間あたりの速さの変化が1.5m/sでした。同じ斜面を用いて、台車の質量を3倍の600gに変更して同様の実験を行った場合、1秒間あたりの速さの変化はどうかと考えられるか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- 4.5m/sになる。
 - 0.5m/sになる。
 - 1.5m/sのまま変わらない。
 - 3.0m/sになる。
- 問7 摩擦や空気抵抗が無視できるとき、物体が持つ「位置エネルギー」と「運動エネルギー」の和は常に一定に保たれます。この物理法則の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 福井県公立入試 類似)
- 作用反作用の法則
 - エネルギー保存の法則
 - 力学的エネルギー保存の法則
 - 慣性の法則
- 問8 物体の速さが一定であるとき、その物体が持っている運動エネルギーの大きさと、その物体の質量の関係について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- 運動エネルギーの大きさは、物体の質量に関係なく一定である
 - 運動エネルギーの大きさは、物体の質量の2乗に比例する
 - 運動エネルギーの大きさは、物体の質量に反比例する
 - 運動エネルギーの大きさは、物体の質量に比例する
- 問9 物体上の1点から、互いに異なる方向へはたらく2つの力F1とF2があります。これら2つの力と同じはたらきをする力を求める手順として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- 2つの力を隣り合う2辺とする長方形をつくり、その対角線の長さを半分にする。
 - 2つの力の矢印の先端どうしを直線で結び、その直線の中点とはたらく点を結ぶ。
 - 2つの力を隣り合う2辺とする平行四辺形をつくり、その始点からの対角線を引く。
 - 2つの力のなす角度を2等分する線を引き、2つの力の長さの合計分だけ伸ばす。
- 問10 摩擦や空気抵抗が無視できる斜面において、高い場所にある点aから物体を静かに滑らせ、斜面を下りきった点hまで移動させる実験を行いました。このとき、移動中の「時間」を横軸に、「力学的エネルギーの大きさ」を縦軸にとったグラフを作成した場合、どのような形になりますか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- 時間の経過とともに、エネルギーの値が一定の割合で減少する直線になる
 - 時間の経過とともに、エネルギーの値が一定で横軸に平行な直線になる
 - 時間の経過とともに、エネルギーの値が曲線的に増加する曲線になる
 - 時間の経過とともに、エネルギーの値が山なりに変化する曲線になる
- 問11 水平な面上を運動する小球を0.1秒間隔でストロボ撮影したところ、連続する2つの区間の距離がいずれも17cmでした。このとき、この2つの区間を合わせた合計0.2秒間における小球の平均の速さは何cm/sですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 340cm/s
 - 170cm/s
 - 17cm/s
 - 34cm/s
- 問12 運動している小球が静止している木片に衝突し、木片を一定の距離だけ押し動かしたとき、小球がもっていた力学的エネルギーは衝突前と比べて減少する。このように、力学的エネルギーが減少する理由として最も適切なものはどれか。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- 衝突の衝撃によって小球の質量が一時的に減少し、重力の影響が小さくなったため。
 - 木片を動かしている間は、小球にはたらく重力による位置エネルギーが消滅するため。
 - 衝突した瞬間に、小球の運動エネルギーのすべてが位置エネルギーへと変換されたため。
 - 小球が木片に対して仕事をすることで、もっていたエネルギーが消費されたため。
- 問13 定滑車と動滑車を組み合わせた装置を用いて、1kgの物体を20cmゆっくりと持ち上げた。このとき、ひもを引いた距離は80cmであり、ばねばかりが示した力の大きさは2.5Nであった。この実験において、ひもを引く力が物体に対してした仕事の大きさとして適切なものはどれか。 (2015年 奈良県公立入試 類似)
- 5.0ジュール
 - 2.0ジュール
 - 0.5ジュール
 - 200ジュール
- 問14 静止した状態から斜面を下る球の運動を0.1秒ごとに記録したところ、基準点から0.1秒後の移動距離は2.0cm、0.2秒後の移動距離は8.0cm、0.3秒後の移動距離は18.0cmとなりました。このまま球が運動を続けたとき、基準点から0.4秒後の移動距離は何cmになると考えられますか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- 28.0cm
 - 24.0cm
 - 32.0cm
 - 40.0cm